

生ける伝説”  
アンジェイ・ワイダ最新作!

2013年 ヴェネチア国際映画祭  
パシネット賞受賞

2013年 シカゴ国際映画祭  
最優秀男優賞受賞

2013年 トロント国際映画祭  
正式出品作品

# ワレサ

## 連帯の男

Walesa. Człowiek z nadziei

監督:アンジェイ・ワイダ

出演:ロベルト・ヴェンツキェウチ「ソハの地下水道」、アグニェシュカ・グロホフスカ「ソハの地下水道」

2013年:ポーランド映画、ポーランド語・イタリア語(124分) シネマスコープ、デジタル、Dolby Digital、英語:Walesa, Man of Hope 日本語字幕:吉川美奈子 字幕監修:久山宏一 提供:ニューセレクト/NHKエンタープライズ 配給:アルパトロソフィルム

1980年代ポーランドの厳しい体制下、人々は自由と未来のために立ち上がった。



AKSON STUDIO TELEKOMUNIKACJA POLSKA TVP - TELEWIZJA POLSKA S.A. NATIONAL CENTRE FOR CULTURE CANAL 4 CO FINANCED BY POLISH FILM INSTITUTE PRESENTS A FILM "WALESA, MAN OF HOPE" DIRECTING ANDRZEJ WAJDA SCREENPLAY JANUSZ GLOWACKI DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY PAWEŁ EDELMAN PSC STARRING ROBERT WIĘCKIEWICZ AGNIESZKA GROCHOWSKA MARIA ROSARIA OMAGGIO ZBIGNIEW ZAMACHOWSKI CEZARY KOSIŃSKI MACIEJ STUHR CREATIVES SUPPORT AND CAST EWA BRODZKA SOUND JACEK HAMELA MAKEUP WALDEMAR POKROMSKI TOMASZ MATRASZEK COSTUME DESIGNER MAGDALENA BIEDRZYCKA PRODUCTION DESIGNER MAGDALENA DIPONT EDITING MILENIA FIEDLER PSM GRAFTNA GRADON PSM MUSIC PAWEŁ MYKIETYN PRODUCTION MANAGER PAWEŁ GABRYŚ EXECUTIVE PRODUCERS KATARZYNA FUKACZ-CEBULA MALGORZATA FOGEL-GABRYŚ PRODUCER MICHAŁ KWIECINSKI

Walesa-movie.com

# 「時に君たちは、自由のために 闘わなければならない」

ソ連邦を中心とする東欧の共産主義国家が  
倒れた東欧民主化から25年——。  
その口火となったポーランドの独立自主管理労組  
「連帯」の闘いを、初代委員長ワレサと  
彼の家族の日々をとおして描く歴史大作。

●1980年代初頭、グダンスクのレーニン造船所で電気工として働くワレサの家に、イタリアから著名な女性ジャーナリスト、オリアナ・ファラチが取材に訪れたところから映画は始まる。ワレサは彼女に、1970年12月に起こった食料暴動の悲劇から語り出す。物価高騰の中で労働者の抗議行動を政府が武力鎮圧した事件だ。この時、ワレサは両者に冷静になることを叫び、検挙された際、公安局に協力するという誓約書に署名を強いられた。

●グダンスクのアパートで質素に普通の生活を送っていたワレサとその妻ダスタ、そして生まれてくる子供たち。この事件以降、一家は、歴史的転換期の真只中で、運動に深く関わってゆき、ワレサはその中で次第に類まれなカリスマ性と政治的感性を発揮してゆく……。

●1970年から1980年代のポーランドをはじめとする東ヨーロッパの国々は、ソ連邦の傘下、検閲や思想統制など社会的に束縛され、極めて厳しい状況にあった。その体制に対して、人々が自由のために闘い、未来のために議論し、力を合わせて抗したことを、ワレサ監督は映画に記して、後の世代に残そうとした。

●ワレサ監督は、その闘いの中心人物ワレサに敬意をこめながらも、彼を英雄としては描いていない。気高く、家族思いであるとともに、ユーモアがあり、弱くて傲慢でもある複雑な性格を持つ人物として描いている。また彼の英雄的行動の背景には妻ダスタの存在があったことを、とりわけ大切に描いている。そこにはワレサ監督夫妻の体験も重ねているようだ。

『大理石の男』『鉄の男』から20年を経て、  
ワレサ監督が最新作に込めた  
ライフワークともいえるテーマ

●2016年に90歳になるワレサ監督は、『地下水道』(56)、『灰とダイヤモンド』(58)など、第二次世界大戦におけるポーランドの苦難の歴史を描くほかに、『大理石の男』(76)、『鉄の男』(81)など、グダンスク・レーニン造船所の労働者をテーマに、戦後ポーランドの大きな転回点となった時代を描いてきた。本作は、これら2作から約20年を経て、三度、同じテーマに取り組んだ彼のライフワークともいえる。

●撮影は35ミリと16ミリのカメラを併用し、当時撮影された膨大な記録映像に質感を合わせ、実写映像と見事に結合させた。音楽も大きな効果をあげている。80年代のロックミュージックを全編使用し、時代の高まりをリアルに生き生きと表している。また『鉄の男』から、ピラ配りのシーンや政労合意の調印がされた後の人気のない会場の情景を挿入し、過去の2作品との連続性を暗示させている。



## ワレサ 連帯の男

監督:アンジェイ・ワレサ | 脚本:ヤヌシュ・グウォヴァツキ | 出演:ロベルト・ヴェンツェヴィチ、アグニェシュカ・グロホフスカ | 2013年 | ポーランド映画 | ポーランド語・イタリア語 | シネマスコープ | デジタル5.1ch | 127分 | 原題:Waleśa. Człowiek z nadziei | 英題:Waleśa. Man of Hope | 字幕翻訳:吉川美奈子 | 字幕監修:久山宏一 | 提供:ニューセレクト/NHKエンタープライズ | 配給:アルパトロス・フィルム

© 2013 AKSON STUDIO SP. Z O.O., CANAL+CYFROWY SP. Z O.O., NARODOWE CENTRUM KULTURY, TELEKOMUNIKACJA POLSKA S.A., TELEWIZJA POLSKA S.A. ALL RIGHTS RESERVED

